

# 安全の手引き

※施設の皆様へ、下記で該当しない項目については、マジックで×を付けるなどしてご利用ください。

## はじめに

この手引きは、地震・津波等の災害発生時に、お客様に安全に避難いただくための基本事項について、記載したものです。チェックイン時のフロントでのご紹介やお部屋に配布しておりますので、内容をご確認ください。

また、災害発生時には、フロントなどで従業員が多言語シートで案内を行いますので、指示に従い、冷静に行動してください。

### お部屋に到着されたら

- 客室内に掲示している避難経路図を確認し、あなたのお部屋から方向の異なる非常口を2か所以上、実際に歩いてご確認ください。
- お身体の不自由な方で避難に不安を感じられるお客様は、あらかじめフロントにお申し出ください。

## 災害について

### 災害の知識

#### 地震とは

- 地面の揺れ方にも小さい揺れや大きい揺れがあります。
- 揺れが大きい場合、家具が倒れたり建物が壊れたりすることもあります。



#### 津波とは

- 地震の揺れの大きさに関係なく、津波が発生することがあります。
- 大きな波の場合、まちや人をのみ込むこともあります。



## 災害が起きたら

### 地震による揺れが発生している時にすること

#### 身の安全の確保

- テレビ・家具・調度品からなるべく離れてください。
- 近くの固定されているものにつかまってください。
- 家具の転倒、落下物に注意し、頭を保護して避難してください。
- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。



#### 冷静な(落ち着いた)行動

- あわてて外に飛び出さないでください。
- エレベーターが止まったらすぐに降りてください。
- 避難の際には、エレベーターは、絶対に使用しないでください。



## 最初の揺れが収まった時にすること

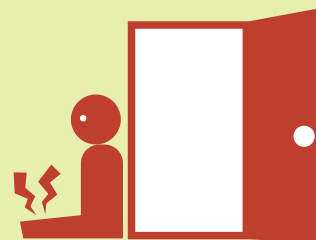
### 避難の際の行動

- 非常放送、或いは係員の指示に従い冷静に行動してください。
- 津波発生時は、急いで逃げてください。
- エレベーターは絶対に使用しないでください。
- 服装や持ち物にこだわらずに早く逃げてください。
- 電話でマネージャーかフロントへ救助を求めてください。万一電話が通じないときは、窓から懐中電灯やシーツなどであなたがいることを合図し、救助を待ってください。
- ドアや窓を開けて避難路を確保してください。
- 施設内を動きまわったり施設外に出たりしないでください。



### ひと段落した時

- 従業員が施設内を巡回しますのでドアを開けたままお待ちください。
- ケガや火傷をした場合は従業員に申し出てください。



## 災害が起きたら

### 地震

発生 身を守る

避難 安全な場所へ逃げる

避難所 非常食・毛布・トイレなどがある災害時の一時的な生活場所

### 津波

発生 地震の揺れの大きさに関係なく、津波が発生することがあります

避難 急いで内陸に向かって高い所へ逃げる

避難所 非常食・毛布・トイレなどがある災害時の一時的な生活場所

## 緊急用語

発生	地震	Jisin	津波	Tsunami	危ない	Abunai
	助けて	Tasukete				
避難	逃げろ	Nigero				

### 最後に

この施設は帰国や移動まで皆様の安全を守ります。必要な情報、分からないこと、不安なことは、従業員に訊ねてください。